授業科目名・形態	介護の基本Ⅰ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石田　浩幸	実務経験の有無	有	開講期	1年前期
科目ナンバリング	W3-1008c				

【授業の主題】

介護福祉の基本となる理念や地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養う学習とする。また、我が国の専門職による介護の成り立ちや介護の概念の変遷をその社会的背景とともに理解を深め、尊厳の保持や自立支援という介護福祉の基本となる理念について考える授業内容とする。

【到達目標】

1)　専門職による介護が誕生した社会的背景を理解する。
2)　高齢者福祉施策を概観しながら、介護の概念の変遷について理解する。
3)　介護の専門性について考え、介護の基本理念とは何か理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　介護福祉を取り巻く状況①
第 2 回　介護福祉を取り巻く状況②
第 3 回　介護福祉の歴史①-戦前、戦後の社会福祉政策
第 4 回　介護福祉の歴史②-老人福祉法制定の背景
第 5 回　介護福祉の歴史③-老人福祉法による介護問題への対応
第 6 回　介護の概念の変遷：1970 年代 - 老人の収容施設の整備・老人医療費の無料化等
第 7 回　介護の概念の変遷：1980 年代① - 老人医療費の有料化・老人家庭奉仕員等
第 8 回　介護の概念の変遷：1980 年代② - 社会福祉士及び介護福祉士法の成立等
第 9 回　小テスト
第 10 回　介護の概念の変遷：1990 年代① - 福祉関係八法改正・老人訪問看護制度等
第 11 回　介護の概念の変遷：1990 年代② - 新ゴールドプラン・社会福祉基礎構造改革等
第 12 回　介護の概念の変遷：2000 年代① - 介護保険法・身体拘束ゼロ・訪問介護
第 13 回　介護の概念の変遷：2000 年代② - 医行為・介護福祉士の業の変遷
第 14 回　介護福祉の基本理念とは
第 15 回　尊厳を支える介護、自立を支える介護

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。内容に応じてグループワークを行う場合がある。

【授業準備】

教科書を事前に目を通し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術演習

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 3　介護の基本Ⅰ　中央法規出版（株）

【参考文献】

・大橋謙策、宮城孝編：社会福祉構造改革と地域福祉の実践，東洋堂企画出版社
・中田雅美：高齢者の「住まいとケア」からみた地域包括ケアシステム，明石書店

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

養護老人ホームや軽費老人ホーム、特養等の多様な場において、介護福祉士及び生活相談員として利用者とその家族に関わってきた経験を活かし、具体的な事例を示しながら介護の専門性について学生が自ら考える機会をつくっていきたい。

【学生へのメッセージ】

介護福祉の歴史的背景を振り返りながら、「介護の専門性とは何か」を考えていきましょう。